

教科名	理科
科目名	生物基礎（理系）
グレード	
単位数	3単位
対象学年	高校2年

科目の概要	教科書を中心に展開する。前半「生物基礎」、後半は「生物」の教科書を使用する。生物の相互関係をマクロの視点で考察する分野と、細胞や分子レベルのミクロの視点で考察する分野を扱う。
科目の目標	「生物基礎」ではホメオスタシス、生態系を、「生物」ではタンパク質、DNAの機能を学ぶ。血液、肝臓、腎臓、自律神経、内分泌系、免疫の機能と、体内環境の調節を理解する。生態系分野では生物相互関係、バイオームの種類、個体群の成長と相互関係、物質生産を理解する。タンパク質とDNAの機能は分子レベルの機能を理解する。応用力をつけるため、観察、計算、グラフの考察を中心に問題練習を行う。
使用教科書	改訂版 生物基礎 数研出版、改訂版 生物 数研出版
使用副教材	ニューグローバル生物基礎＋生物 東京書籍（Libry）
評価の方法	定期考査（4回）、実験レポート
学習の方法	教科書の要点に印を付けながら、補足事項を書き込む。現象について、変化の様子をグラフに表したり、過程を箇条書きにまとめ、プリント書き込み作業を実施。問題練習では同じ問題を数回繰り返して解き、与えられた条件を正確に使う力を養う必要がある。
生徒への一言	授業のあった日に復習し、疑問点を学校で質問するという習慣をつけると良い。

月	授 業 予 定
4月	肝臓の機能、腎臓の機能 自律神経系、内分泌器官系の機能とフィードバック調節
5月	免疫の働き
	5月下旬 前期中間考査
6月	生態系 色々なバイオームと気候の関係

7月	陽生植物 陰生植物 人間生活と環境保全
8・9月	個体群の種類 個体数変動 個体群の相互関係 バイオームの物質移動
	9月下旬 前期期末考査
10月	細胞小器官の種類と働き
11月	選択的透過性 チャネル ポンプ 細胞骨格 細胞結合
	11月下旬 後期中間考査
12月	A T P 発酵 好気呼吸の反応過程
1月	好気呼吸の過程 光合成反応過程
2月	C A M植物 C 4 植物
	2月下旬 後期期末考査
3月	進化